

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

## CPT11(3投1休) + Bevacizumab 療法

4週毎 コース予定

疾患名 卵巣癌

主治医

指導医

HBs抗原( )、HBs抗体( )、HBc抗体( )、HCV抗体( )

### スケジュール

		day1	day8	day15
ベバシズマブ	15 mg/kg	↓		
イリノテカン	60 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓

【注意】 \*ベバシズマブの点滴時間は初回投与時 90 分かけて点滴静注、2 回目の投与は 60 分間で行って良い。それ以降は忍容性が良好であれば、30 分間投与でも良い。

\*ベバシズマブ併用化学療法終了後、ベバシズマブ単独投与を継続すること

\*必要時 化学療法開始前日から半夏瀉心湯7.5g 3×毎食前 内服開始

または 重曹 1.8g 3×毎食後 内服4日間

\*イリノテカン使用前に腹痛・下痢がないことを確認する。

### 通常量より減量する際の理由

### (レジメン)

#### day 1

- |   |                |                    |                     |
|---|----------------|--------------------|---------------------|
| ① | 生食 500 mLで血管確保 |                    | 維持(20 mL/時間)        |
| ② | ベバシズマブ         | + 生食 適量(全量 100 mL) | 点滴静注 90~30 分        |
| ③ | グラニセトロン注 3mg   |                    | 側管静注                |
|   | デキサメタゾン 9.9 mg | + 生食 20 mL         | 側管静注                |
| ④ | イリノテカン         | + 5%ブドウ糖 250 mL    | 点滴静注 90分(180 mL/時間) |

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day 8, 15

- ① 生食 500 mLで血管確保 維持(20 mL/時間)
  - ② グラニセトロン注 3mg 側管静注
  - ③ デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL 側管静注
  - ④ イリノテカン + 5%ブドウ糖 250 mL 点滴静注 90 分(180 mL/時間)
- ◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

day 2,3 , 9,10 , 16,17 デキサメタゾン錠 8mg 内服

	コース			コース		
	day1	day8	day15	day1	day8	day15
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓			↓		
イリノテカン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						

	コース			コース		
	day1	day8	day15	day1	day8	day15
月日	/	/	/	/	/	/
ベバシズマブ 開始時刻	↓			↓		
イリノテカン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認						